

6/16 アシックスジャパンのランニングイベント  
**META : Time : Trials**



アシックスジャパン（株）が主催する市民ランナーのための5,000mレースイベント《META : Time : Trials》北海道地区予選会が青葉陸上競技場で開催され、土砂降りの雨と強風というコンディションの中、100人以上の市民ランナーが出場しました。江別市を拠点とするランニングクラブ《ちばりよ〜RC》所属の山谷 あずささんは、目標タイムを20:00に設定し出場。「途中でタレそうになるたびに、仲間からの『あずりんガンバ!』の声援が後押しになりました」と話し、最後は会心のラストスパートで目標タイムをクリア。「この雨と風を考えると、今日の出来は（100点満点で）200点!」と振り返りました。この日のレースで上位だった男女各5人が、8月4日に川崎市で開催される決勝大会への参加資格を手に入れました。

**人のうごき**

《総人口》  
97,681人（-134）  
男性 49,581人（-116）  
女性 48,100人（-18）  
《世帯》52,498世帯（-135）

（ ）内は、前月との比較です。

7.1 現在

**広報ちとせからのお知らせ**

広報ちとせの発行日は毎月10日です。この日までに届かないときは、次の番号にご連絡ください。なお、町内会に加入しているしていないを問いません。

広報広聴課 広報係  
☎(24)0104 FAX(22)8851

6/15 第4回公演 市民ミュージカル初稽古  
**出演者がチームワークを磨く**



第4回目となる市民ミュージカルの出演者が揃い、北ガス文化ホールで初稽古が行われました。今回が初参加の出演者も多く、稽古メニューは自己紹介、グループトークからの他者紹介など、チームワークを磨くところから開始。また、「3コマの静止シーンを演じ、何の童話が当てるゲーム」を開催。学生時代は演劇部に所属し、抜群の表現力で参加者全員を正解させた小笠原 愛さんは、今回がミュージカル初挑戦。第2回から参加している母、恵子さんの姿を見て親子での参加を決め、「誰かの心に残るようなストーリーができあがったら」と意気込みを話してくれました。市民ミュージカルは、脚本家・演出家の任 泰峰さん書き下ろしの新作。開演は11月9日、10日を予定しています。

**ちとせ空港 百年物語**

手づくりの着陸場から新千歳空港へ  
開港100年の歴史を振り返る

Vol.15

**北海道に飛行場を海軍の決定**

1930年代半ば、日本は列強国との海軍軍縮条約・軍縮会議を相次いで破棄・脱退し、軍備を拡張。対立を深めていた。これに伴い、気象の制約を受けやすいつた理由から関心が薄かった北方海域の備えも、国防上欠かせないと考えるようになり、そこで、北海道のどこかに海軍航空基地を建設する案が浮上してきました。

当初、海軍が想定していた作戦は、アラスカの軍港ダッチハーバーからアリユーション列島沿いに南下してくるアメリカ軍艦隊を航空機の雷撃で迎え撃ち、艦隊決戦に持ち込むというもので、アメリカ本土に近い根室が建設地として有力視されていました。

しかし海軍は、昭和10年7月から実施した海軍大演習にて、建設地を再考せざるを得ない事態に直面します。根室は霧が発生することが多く、1年を通して航空機を飛ばすにはそれほど適していないことが、大演習を通して徐々に明らかになってきたのです。

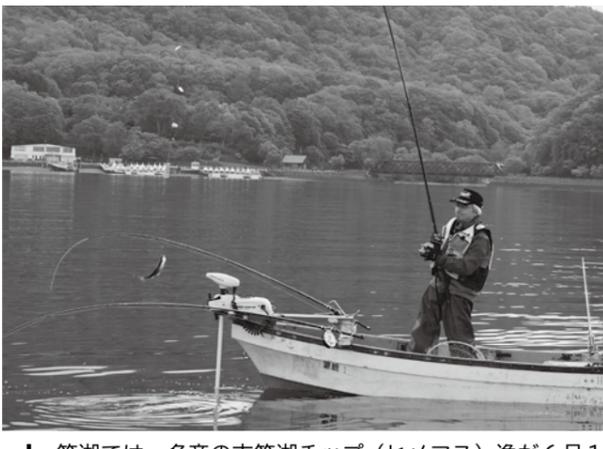
海軍は建設地を再考し、霧の発生が少ない北

昭和十四年度末迄二左ノ如ク整備ス  
飛行場ノ新設

それから間もなくして海軍省から、より具体的な建設地選定のための調査指令が发出されます。指令を受けた2人の海軍パイロット、楢貝襄治と小福田皓文は、その候補を「石狩川流域」、「苫小牧地区（勇払平野）」、「そして「千歳付近」の3つに絞り、調査を開始しました。

昭和10年頃の千歳駅

6/1 初日は豊漁  
**支笏湖チップ漁**



支笏湖では、名産の支笏湖チップ（ヒメマス）漁が6月1日に解禁となり、早朝から多くの釣り人が湖上をにぎわせました。支笏湖漁業協同組合によると、漁は午前3時に解禁され、午前6時までに167隻を確認しました。初日が土曜日となり、また昨年の釣果が良かったことを受け、昨年より59隻の増となりました。「チップ釣りはなかなか釣れないところがおもしろい。でも、今日は100匹釣れた」「魚のいるところ（深さ）にあわせるのが難しい。昨年よりもたくさん釣れてうれしい」などと語る笑顔の釣り人が印象的でした。チップ釣りは8月末まで楽しめます。

6/1 千歳神社のご当地おみくじ  
**ヒメマスに「願い秘めます」**



千歳神社が、ご当地おみくじ《ひめますみくじ》を制作しました。ひめますみくじは、張り子のヒメマス（チップ）とおみくじがセットになっており、ジオラマの支笏湖から釣りざおで釣り上げるという子どもや観光客が喜び工夫も。市職員的小林 由希奈さんと千歳神社の山口 泰明さんのアイデアから制作に至り、6月1日の支笏湖チップ漁解禁にあわせて頒布を開始しました。《中吉》のひめますみくじを釣り上げた越智 凌介さん（千歳小6年）は、「難しかったけど神社の人が親切にやり方を教えてくれて、なんとか釣れた。神様からいいお言葉をもらったので、大事にしたい」と話しました。

6/1 子どもの頃から正しい知識を学ぼう  
**むし歯予防デー**

歯と口の健康を学ぶ《むし歯予防デー》が千歳市歯科医師会と市との共催で開催されました。開催は5年ぶりで、会場の総合福祉センターには181人の市民が来場。歯科医師による歯科健診やフッ化物塗布、フッ化物洗口、歯科相談などを実施しました。同時に行われた歯科保健図画・ポスターコンクール表彰式では、駒里小6年の岩崎 小和さんが市長賞を受賞。千歳市歯科医師会の真鍋 淳 会長から賞状と記念品が贈られました。

市長賞を受賞した岩崎さん制作のポスター▼

自分の歯を輝かせ



5/30 「ごみ減量・リサイクル標語」コンクール

**最優秀賞に阿部 心遥さん**



市内の小学生を対象に実施している「ごみ減量・リサイクル標語」コンクール入選作品の表彰式が行われ、千歳第二小4年の阿部 心遥さんが最優秀賞を受賞しました。作品は「捨てるよりいかにせそのゴミ リサイクル」。普段からボトルキャップやリングプルを分別して集めているという心遥さんは、作品内の「いかにせそのゴミ」を「みんなにもたくさんリサイクルに取り組んでほしい」とのメッセージと話し、それによって「ゴミが減ってまちがきれいになったら」と、作品に込めた思いを語りました。